

北十間川の水辺活用に向けた勉強会（第6回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.6
発行：平成29年7月 墨田区都市整備課

北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

日時：平成29年6月29日(木)19:00～20:45 場所：墨田区役所会議室

参加していただいた町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、吾妻橋三丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
本所吾妻橋商店会、言問橋商店会、リバーピア吾妻橋飲食店会

事業関係者

東武鉄道(株)、(一社)墨田区観光協会、東京都（河川部、江東治水事務所）、墨田区（政策担当、
行政改革推進担当、産業振興課、観光課、土木管理課、道路公園課）

事務局：都市整備課、芝浦工業大学建築学部（志村教授・学生）、(株)モジュール



1) 要旨

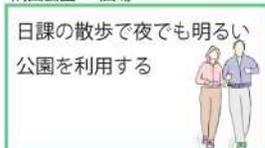
- 1) 今年度の勉強会は、全体会議の勉強会と詳細の検討をする検討部会に分けて進める。芝浦工業大学と区で一緒に運営する。
- 2) 昨年度の勉強会での意見を、生活シーンで整理し、隅田公園については、それを基に基本設計案を進めていく。
- 3) 事業全体の進捗状況について確認する。
- 4) 河川を活用し賑わいを創出するためには、協議会を組織する必要がある、そのために水辺の活用方法やルール等を今後議論していきたい。

2) 昨年度の勉強会の意見（生活シーンの整理、隅田公園設計案）

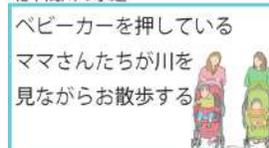
隅田公園－広場



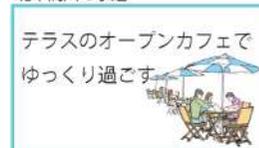
隅田公園－広場



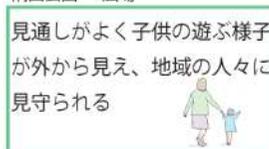
北十間川の水辺



北十間川の水辺



隅田公園－広場



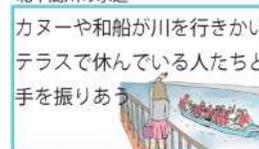
隅田公園－牛嶋神社



北十間川の水辺

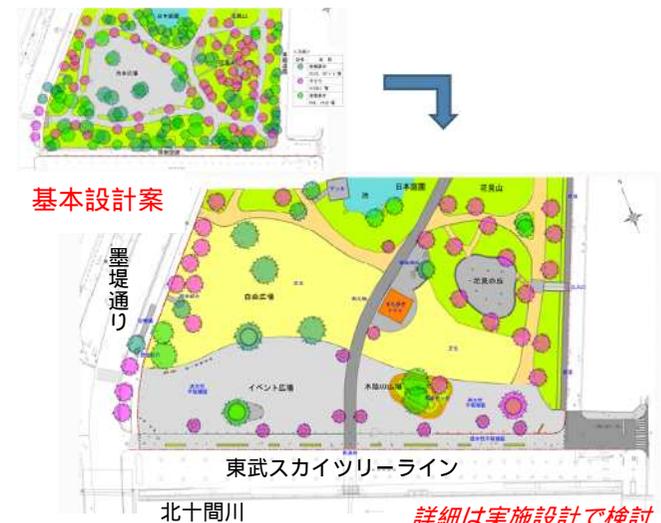


北十間川の水辺



隅田公園及び北十間川周辺の生活シーン（例）

隅田公園（日本庭園より南側）現況図と基本設計案



詳細は実施設計で検討

隅田公園基本設計案に対する意見

- ・夜でも安全に利用できるように、街灯や出来れば防犯カメラもつけてほしい。
- ・水戸下屋敷や明治天皇、そのほか歌人の歌など、歴史的な要素を活かした整備にしてほしい。
- ・特に花見山の見通しが気になる。山の高さは出来る限り落としてほしい。
- ・南側道路は、出来る限り車の通行を排除し歩行者優先とし、公園と一体で整備すると良い。路上駐車対策も必要である。
- ・北十間川南側のエリアについても、防犯やごみのポイ捨てなど、検討してほしい。

3) 事業進捗報告について

事業進捗についての意見

- ・鉄道高架下に店舗等が入ると、既存の商店街への人の流れが変わることを懸念している。2020年以降もまちづくりが周辺のまちへ広がるように考えてほしい。
- ・新たな観光地として人を呼びこむ仕掛けが必要。注目を浴びるプロジェクト名をつけるのも面白い。また、本所吾妻橋駅で人を下すことも考えないといけない。
- ・このエリア周辺にはトイレが少ない。人が増えるともっとトイレが必要。
- ・親水テラスは、高架下施設や橋詰からどうつなげるかを検討して、開放を目指していく。
- ・隅田公園では、遊具を置くという意見もあるが、自然あふれる広い広場がある公園として、ここでしか味わえない遊びが出来るものも考えていきたい。

4) 河川空間の利活用による賑わい創出と協議会設立に向けて

河川敷地の占用許可準則の特例占用による協議会設立に向けて

- ・新たに生まれる魅力的な水辺を利活用するために、協議会を設立していきたい。地元団体も交えた協議会にすることで、地域のニーズを活かした水辺にすることができる。
- ・H30年度の協議会設立に向けて、今年度の勉強会では、北十間川の利活用や管理運営について、協議会の組織について議論していきたい。
- ・協議会が出来れば、地元がまとまって要望をすとかいったことも考えられる。まちについているような意見が出てきているので、協議会としてまとまる必要があると思った。



北十間川周辺エリアイメージ



高架下施設イメージ (提供: 東武鉄道株)

上記3点のイメージは現段階のもので、今後変更になる場合がある。

今後の予定

- ・第7回勉強会
8月3日(木) 19:00~
- ・第3回検討部会
8月19日(土) 10:00~
- ・第8回勉強会
10月11日(水) 19:00~

北十間川の水辺活用に向けた勉強会（第7回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.7
発行：平成29年10月 墨田区都市整備課

北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

日時：平成29年8月3日(木)19:00～20:45

場所：墨田区役所121会議室

参加していただいた町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、吾妻橋三丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
リバーピア吾妻橋飲食店会

事業関係者

東武鉄道(株)、(一社)墨田区観光協会、東京都（河川部、江東治水事務所）、墨田区（政策担当、
行政改革推進担当、産業振興課、観光課、土木管理課、道路公園課）

事務局：都市整備課、芝浦工業大学建築学部（志村教授・学生）



1) 要旨

- 1) 隅田公園周辺のまち歩きワークショップを行い、現地原寸で整備内容が確認できたことで、利用イメージが膨らんだ。
- 2) 先行事例を学び、北十間川の水辺利用のイメージを共有した。
- 3) 河川空間の利活用による賑わいと、河川空間利活用の幅が広がる協議会の設立について学んだ。

2) 【第2回検討部会】隅田公園・北十間川沿いのまち歩きワークショップ

ワークショップでの意見（一例）



・北十間川から隅田公園まで
段差なくつながる。ベビー
カーも押せる



・縁石はベンチとして活用する



・南側道路は安全に歩ける。
横切することもできる



・計画高さ通り2mほどでも見
通しがきくようになる



・足元に照明を置き、夜でも
安全にする



・テラスからのんびり電車など
を眺めたい



・高架下に保育園などがあれ
ば子供が公園に集まる



・門柱やゲートを設置する



・高架下と川がつながるような照明にする。



・花見山にベビーカーでも登
れるようにしたい



・大きくなって見通しを遮っている
低木は伐採する



・遊歩道の奥行きがある

南側道路

隅田公園(花見山)

親水テラス

意見まとめ

- ・ 色々な意見アイデアをいただいたので、実現可能かどうか検証しながら設計業者とともに設計図をまとめていく。
- ・ 隅田公園が良くなることは分かったので、周りのまちもよくなるように広げてほしい。
- ・ きれいな街並みを作るとともに、人が集まるようなインパクトのあるものがあるとよい。
- ・ きれいに整備されたあかつきには、地元の生活の中でもいろいろな場面でこの場所を使ってほしい。

3) 水辺活用の事例紹介

台東区隅田川 (オープンカフェ)



広島市京橋川 (オープンカフェ)



実施前

実施後

大阪道頓堀川ほか (イベント)



北十間川の利用イメージ

カヌーや和船が川を行きかい
テラスで休んでいる人たちと
手を振りあう



テラスで町会の
イベントが行われる



テラスのオープンカフェで
ゆっくり過ごす



ベビーカーを押している
ママさんたちが川を
見ながらお散歩する



4) 河川の賑わい創出と協議会設立に向けて

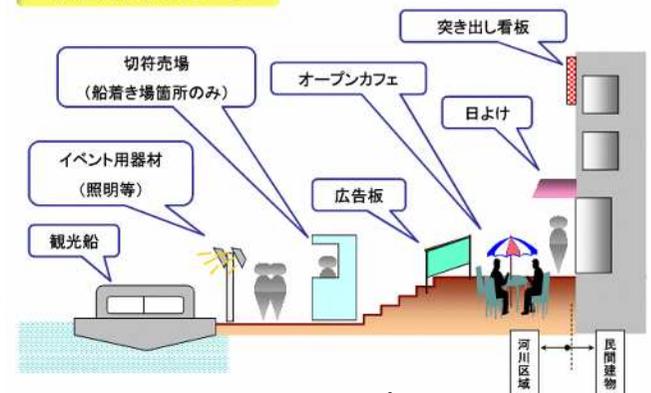
新たに生まれる河川空間 (親水テラスなど) の利活用ができると・・・

- ・ 貴重なオープンスペースとなり、水辺に親しむ機会や水辺の賑わいが生まれる。
- ・ 地元の意見を反映した河川空間の利活用により、新たなまちづくりが展開できる。

協議会を設立すると

協議会を設立し、地元の皆様とともに河川区間のあり方を考えることで、地域のニーズに合った右図のような幅広い利活用が可能になる。

河川空間利用のイメージ



出典：(国土交通省)

北十間川の水辺活用に向けた勉強会（第8回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.8
発行：平成29年12月 墨田区都市整備課

北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

日時：平成29年10月11日(水)19:00～21:00

場所：墨田区役所121会議室

参加者 町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、吾妻橋三丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
本所吾妻橋商店会、吾妻橋パトリア会

事業関係者

東武鉄道(株)、(一社)墨田区観光協会、東京都（河川部、江東治水事務所）、墨田区（政策担当、
行政改革推進担当、産業振興課、観光課、土木管理課、道路公園課）

事務局：都市整備課、芝浦工業大学建築学部（志村教授・学生）



1 要旨

北十間川沿いまち歩きワークショップを行い、現地原寸で確認できたことで、北十間川の利用イメージが膨らんだ。

北十間川周辺で展開している区の事業について理解した。

台東区の事例を基に、協議会組織のイメージを膨らませた。

隅田公園の新たに明らかになった歴史的価値、歴史の積み重なりを学んだ。

2 【第3回検討部会】北十間川沿いのまち歩きワークショップの報告

ワークショップの様子

日時；8月19日（土） 10:00～12:00

場所；東武鉄道高架下 人数：23名

ワークショップでの意見：

- ・橋からテラスへ下りるとき、スロープがあると良い。
- ・水質を改善すれば人が集まってくる。
- ・船着き場を使いやすく、船の往来を大事にしたい。
- ・テラスでゆったりできる空間があると良い。
- ・周辺の建物も水辺との関係を考えてほしい（ポンプ場の壁面利用のアイデア有り）。
- ・樋門周辺は南北の道路をつなげて回遊性を高めたい。

勉強会での意見

- ・樋門は、水門の形が変わってサイフォンという管になり高さが低くなるので、小梅橋から先への見通しは今よりも良くなる。
- ・安全性に配慮して隅田公園を夜間閉鎖にするという意見もあるが、路上生活者等の問題もあり総合的に考える必要がある。
- ・高架下に目玉商品をお願いしたい。 ・維持管理が大事。システムとして組み込んだ形を考えられると良い。



3 北十間川の周辺事業の紹介

親水テラス整備：北十間川の南側・北側とも親水テラスを整備する。テラスへの出入りは、各橋詰と、北側は高架下を通る貫通路、南側は吾妻橋二丁目の河川敷地から出入りができる。

小梅橋架け替え整備：急勾配の改善とともに、橋の幅員を広げて安全性を確保する。H31年度末までの工事で、工事に伴う通行止めも行う。

区役所通り整備：浅草通りから北斎通りまでの間で、歩道を広げるとともに自転車通行帯を作り、人と自転車と車の通行の住み分けをする。

水辺の賑わい創出イベント：区役所うるおい広場では、月初めの土日のグリーンマーケットすみだの開催、アシックスのリバーサイドカフェの誘致、吾妻橋観光案内所の区役所内移転、水辺ラインのチケット販売などを行い、水辺及び吾妻橋エリアの賑わいづくりを図る。

商店街振興：地域力を育む商業空間づくり推進事業をスタートさせ、水辺の賑わいづくりによりますます活気が出てくる本所吾妻橋商店街等とタイアップし、新たな事業の企画を行っていくことで、地域を盛り上げていきたい。

舟運事業：船着場整備とともに、船着場の利用ルールや待合環境の設置など、今後とも検討していく。

4 河川敷地の占用許可準則の特例占用による協議会について

台東区の事例を参考に、北十間川の協議会の体制について意見交換した。

- ・台東区の場合は、水辺にオープンカフェを設置するという明確な目的の元の協議会であったが、北十間川の場合は、水辺をこういった形で利活用するのかを検討する広い意味での協議会になる。
- ・台東区の場合は、協議会の下に地元の方が中心となった運営連絡会があるが、北十間川の場合も、協議会と部会という2段構えで考えたい。
- ・現在の勉強会を引き継ぐ形のメンバーとし、事務局は、北十間川事業がある間は区が行う。
- ・協議会で船着場を使う舟運業者を選定することなど考えてもよい。

5 隅田公園の歴史的価値について

明治天皇の水戸小梅邸行幸（明治8年4月4日）

維新時は朝敵であった徳川家に対する維新後初の行幸であった。このことは、明治新政府と徳川家を和解させ、旧幕府勢力の不満を収めて江戸時代を精算した「日本の近代を円滑に進める出発点」として歴史的価値がある。

震災復興公園

関東大震災で水戸小梅邸は焼失し、その跡地に、折下吉延（おりしもよしのぶ：神宮外苑の設計施工の責任者）によって、3つの震災復興大公園のうちの一つとして隅田公園が整備された（昭和6年開園）。日本初の「ウォーターフロントを市民に開放したリバーサイド・パーク」として価値がある。



行幸門（水戸小梅邸）



洋館（水戸小梅邸）



聖徳記念絵画館壁画

「徳川邸行幸」(木村武山：画)

北十間川の水辺活用に向けた勉強会（第9回）を実施しました

北十間川水辺活用まちづくりニュース vol.9

発行：平成30年3月 墨田区都市整備課

北十間川（隅田川～東武橋）の水辺の賑わいの創出、波及による周辺一帯の回遊性の向上について、地元の方々と一緒にまちづくりを考えていく勉強会です。

日時：平成29年12月14日(木)19:00～21:00

場所：墨田区役所121会議室

参加者 町会・商店会など（順不同）

吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、吾妻橋三丁目町会、向島一丁目町会、小梅一丁目町会、
本所吾妻橋商店会、吾妻橋パトリア会

事業関係者

東武鉄道(株)、(一社)墨田区観光協会、東京都（河川部、江東治水事務所）、墨田区（政策担当、
行政改革推進担当、産業振興課、観光課、土木管理課、道路公園課）

事務局：都市整備課、芝浦工業大学建築学部（志村教授・学生）



1 要旨

北十間川乗船ワークショップで、船の利用や水辺の利用イメージが膨らんだ。

（仮称）北十間川水辺活用協議会設立について、参加者の合意を得た。

勉強会のまとめと協議会設立の契機となる発足式を、3/17（土）に開催することとなった。

2 【第4回検討部会】北十間川乗船ワークショップの報告

ワークショップの様子

日時；11月25日（土） 9:30～12:00

場所；北十間川周辺及び墨田区リバーサイドホール会議室 人数：23名

内容：

北十間川乗船ワークショップ 以下は当日の意見

- ・地上から見た景色と船に乗って見る景色は全然違う。 ・枕橋は下から見ると風情があってよい。 ・水面のごみは何とかきれいにしたい。
- ・コンクリートの護岸は殺風景で圧迫感もある。 ・水鳥が飛び立つ姿を船から見たが、非常にダイナミックだ。水鳥がたたずむ景色も良い。
- ・鉄道高架下施設とテラスと一体でライトアップすると夜の景観も非常に良くなる。
- ・隅田川と違って流れが穏やかなので、ちょっとした舟遊びをするには良い川である。

協議会設立に向けた意見交換 以下は当日の意見

- ・協議会を立ち上げることは地元にとってもメリットがあると感じるが、会を運営するには費用もかかる。
- ・協議会メンバーも自ら積極的に水辺を使っていくところまで考えられると良い。
- ・これからいろいろなことを決めていくには、協議会を立たないと話が進まないだろう。



3 協議会設立について

協議会の必要性

- ・北十間川の水辺活用のあり方について、方針を議論し、合意する機関が必要。
- ・地域住民、関係機関、行政が同じテーブルで議論できる場が必要。

協議会の役割

- ・北十間川の水辺活用のあり方を議論し、決定する。
- ・北十間川周辺で事業を行う行政及び民間企業等と、地元住民、町会・商店会との間の調整を行う。

協議会の体制

- ・協議会は年に2回程度で、方向性を決定する場とする。 ・協議会の会長・副会長は、地元町会・商店会から選出する。
- ・協議会で協議する事項を分野別に検討し、素案を作成する役割を持つ「部会」を、協議会の下に設置する。
- ・当面の事務局は都市整備課が行い協議会の運営をサポートするが、将来は自主自立した組織を目指すため、事業スキームの検討を始める。
- ・構成員は勉強会からのメンバーを引き続き、町会・商店会（9団体）、学識経験者、墨田区観光協会、東武鉄道(株)、東京都、墨田区で構成する。

協議会のロードマップ

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度以降
発足式	協議会活動開始			
	準備期			
	<ul style="list-style-type: none"> ・北十間川の水辺活用のあり方を、議論し合意する ・自立した運営ができるよう事業スキームを検討する。 			
			運営期	

勉強会での意見

- ・協議会の運営を考えるに当たって、成功事例を勉強したい。 ・注目されるためには、協議会のネーミングも重要になる。
- ・水辺だけでなく、隅田公園や周辺のまちについても考えられる協議会にしたい。
- ・観光客が集まると防犯の点にも注意が必要なので、議論していきたい。
- ・たくさんの船が入ってきて水面も混雑する可能性があり、水面のルール作りも必要だ。



協議会発足式（予定）

- ・平成30年3月17日（土）の午前中で、会場は区の会議室とする。
- ・プログラムは、勉強会のまとめ、協議会概要説明、協議会発足の決意表明、区長コメントとする。